



きららです



私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

Kanagawa committed to SDGs

きららだより

神奈川県立茅ヶ崎支援学校
支援連携グループ教育相談チーム発行
第4号（2025.9月発行）



チップも応援しています

茅ヶ崎支援学校では、地域におけるセンター的機能を担っており「教育相談」「巡回相談・研修協力」「情報提供」等を行っています。「きららだより」はその一環で、特別支援教育に関する情報を発信していきます。日々の支援のお役立てになりましたら幸いです。

今回は、「あそび」についてお話したいと思います。皆さんはどのようにして「あそび」に取り組んできましたか。一人なのか、複数なのか、道具を使うのか、様々な「あそび」がありますがどれも子どもの発達に深い影響を及ぼしていると考えられています。

例えば、触覚を使うあそびです。触覚は皮膚で得る冷たさ、温かさ、硬さ、柔らかさなどの感覚です。次のようなあそびは、触覚の発達に役立ちます。

- ・砂遊び、粘土遊び（感触の変化を知る）
- ・新聞ちぎり（力加減を養う）
- ・スライムなどの独特な感触（独特な感覚を味わう）
- ・泥遊び（握る力、濡れる感覚）等

また、身体のバランスや動きの速さを感じる前庭覚や身体の位置や動き、筋肉の入れ具合を感じる固有受容覚もあそびの中で発達していきます。あそびの例は次の通りです。

- ・ブランコ、滑り台（揺れやスピード感）
- ・シーツブランコ（心地よい揺れを感じる）
- ・トランポリン（跳ねることによってバランス感覚を養う）等
- ・鉄棒にぶら下がり
- ・手押し相撲等

更に、身体認識を育てるあそびとして、

- ・積み木（手と目の協調性を鍛える、物の重さや形を意識する感覚を鍛える）
- ・ボール遊び（目と手の協調性や平衡感覚を強化する）
- ・片足立ち、けんけん（バランス感覚と体の使い方を意識させる）
- ・布団やマットでロール（体を動かすことで感覚を刺激する）
- ・ジャングルジムマット運動（身体全体の筋肉や関節を使って自分の体の位置や動きを意識する）
- ・サーキット遊び（マット、ブロック、鉄棒、平均台などを組み合わせた障害物コースで様々な運動を円滑に行う能力を養う）
- ・楽器遊び（リズムに合わせて体を動かし、楽器を操作し、様々な感覚を刺激する）等があります。

お子さんによっては、心地のよいあそびを通して、落ち着いたり、社会性を学んだり、集団生活を学んだりすることができます。

ぜひ、いろいろな「あそび」に大人も一緒に取り組んでみてください。♪

教育相談コーディネーターの巡回の流れをお伝えします。

相談票をいただき、主訴を確認した後、電話にて巡回相談を依頼された先生方にお子さんの様子を事前にお伺いします。また、何の授業を観察するかも相談します。詳細は前日に打ち合わせします。

当日の流れ～（例）

10：00～12：00 授業観察（行動観察）

12：00～15：30 コーディネーター帰校、まとめ、ケース会議の準備

15：30～16：45 ケース会議

（時程は、観察した人数や巡回先のご予定によります。）

行動観察は、主訴に応じて、授業中や休み時間など、様々な場面で行います。

例えば、

- ・学習に課題のある方は、国語や算数など机上での学習場面
- ・コミュニケーションや衝動性のある方は、体育や縦割り授業、休憩時間
- ・手指の動きは図工、作業的な授業、箸やスプーンなどの持ち方は給食など

観察を基に、授業内容、本人の様子、○よいところ、●課題、☆支援をまとめ、具体的な手立てをケース会議で巡回先の先生方と相談できるようにします。

（教育相談コーディネーター 藤本）